

令和5年度 こばとこども園 教育活動等に対する学校評価

令和5年3月5日

1 こども園教育目標 …

明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 …

笑顔あふれる安心の基地

※評価点 4(はいそう思う、十分できた) 3(大体あてはまる) 2(あまり当てはまらない) 1(いいえそう思わない、できなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R3	R4	R5	
1教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.2	3.3	3.2	・グランドデザインの内容を理解し、それにそった接し方ができるように努めています。「子どもたちを中心に」「子どもたちのためになっているか」を大切に保育している。 ・幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿については小学校も学びたいところですので、この視点を中心に連携できたらと思いました。 ・活動している子どもたちの姿の中にこばとこども園が大切にしている理念が浸透しているように思います。子どもだけでなく職員の間にも常に笑顔あふれる安心の職場を目指してまいります。 ・重点目標を職員自ら考えることで自分事として捉えることになり課題への具体的な方法が生まれていると思う。「自分から話す」等自己表現に関する課題解決の具体策を工夫したい。 ・継続して取り組みありがとうございます。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3.1	3	3.2	・日頃からの保育の反省や、園内研修で10の姿について触れて考えるようになり、より考えて保育するようになりました。(1号と2号とでの違いがあるため園児に対しての声掛けに気遣いが必要だと考えてます)
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.4	3.4	3.4	・昨年度の振り返りもそうですが、基本は要領をもとに計画しています。
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.3	3.4	3.6	・子どもたちの実態を把握し、子どもに見合った計画を立て実践している。「例年こうだから」とやり方を決めつけず、その年々の子どもにあったものを大切にしていきたい。 ・保健指導や性教育等年齢に合わせて内容を変更して行っている。
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.4	3.4	3.4	・職種は違いますが常に園児の安全を考え園内を見回るよう心がけています。 ・子どもたちの興味のあることに着目し一緒に楽しめる保育者でありたいと思うので、引き続き工夫していきたい。
	⑥幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿や小学校との接続(アプローチ)を意識している	2.9	3.1	2.7	・園児が自主的に物事に関われるよう手助けが必要なときは声かけするように心がけている。 ・園内研修では、意識し指導案を書いていたが、普段の生活(保育)の中ではあまり意識できていなかった。
2保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、こどもの体調が悪くはないか確かめている	3.8	3.8	3.9	・スキンシップをとりながら小さな変化にも気付けるよう確認しています。 ・朝の点呼があったことで、より確実に一人一人を目視で確認することができた。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.7	3.7	3.6	・一人一人の姿を認め、スキンシップをたくさんするよう心がけている。支援の必要な子に対して、きめ細かな対応をしていけるよう、関わり方を学んでいきたい。 ・信頼関係を築けるよう、一緒に遊びよく話し、一人一人の子と向き合えるよう努力します。
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	3.4	3.3	3.1	・子どもが好きな遊び、夢中になっていることなどからヒントを得て遊びこめる環境を整えている。 ・既製品ではなく、子どもの声を拾って遊びを広めた遊びをもっとできたらいいと思う。
	④行事や活動を通して、こども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.1	3.1	3.2	・コロナ禍で異年齢での関わりの場が今後できるよう、散歩に出掛けたり、ごっこ遊びを一緒にするなど、もっと一緒に関わりが持てるようにしていきたい。
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3.1	3.3	3	・職員会議や終礼等で情報共有できているのは良いことだと思う。議事録もエルガナで流すことで会議に参加していない先生も状況を把握することができる。 ・会議の議事録などから知ることができるが、学年以外の子との関わりが少ないため、今後、気をつけて関わりを持っていきたい。また、講師の先生とも話す機会がほしい。
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	2.8	3.1	2.5	・子どもの姿を担任の先生と話すことは多いが、他の講師の先生とも共有し支援の仕方を統一していきたい。 ・学年間や発達コーディネーターとは密に話をするが、その他の職員とは話す機会が少ないと感じる。・支援計画が担任任せになっている。もっと具体的な例をだし、定期的に話し合う時間を持つべきだと思う。
	⑦不適切な保育とならないように、定期的に話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている			3.2	・「子どもにとって」を常に考え行動していく。 ・正義、勇気、声をあげることが孤立、パワハラに繋がることに恐れる現実もある。しかし信頼できる上司や仲間がいれば疑問に思うことの相談、自分の行動の確認などできるのでと感じる。
3教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.3	3.4	3.2	・子どもにとってわかりやすい、伝わりやすい話し方を常に考えながら話をするようにしている。また子ども一人ひとりの声に耳を傾ける努力をしている。 ・言葉は聞く人によって捉え方も違って来る事があり難しい。
	②こどもや保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	3.5	3.6	3.6	・言葉の理解が難しいな...と思うときは、英語表記にしたり努力している。 ・保護者と話す機会が少ないが、給食参観や遠足など機会があれば日頃の子どもの楽しんでいる姿や頑張っている姿など具体的なエピソードも踏まえて話すようにしている。
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.6	3.7	3.7	・日々の体調管理、身だしなみ、衛生清潔に気を付けています。 ・今後も気を付けていきたい。
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.3	3.2	3.2	・同じ学年の先生方とのコミュニケーションが主になっているが、顔を合わせれば積極的に挨拶するようにしている。

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R3	R4	R5	
3教職員としての能力や良識・適正	⑤こどものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.8	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ベテランの先生と経験の浅い先生とで園児に対する接し方に差を感じることがありました。先生の忙しい中だったとは思いますが、もう少し話を聞いてあげてほしいなと思ったことがあります。 ・担任の先生ができるようになったことをほめてくださり子供の成長を感じることができました。 ・いつも笑顔で対応する姿はとても気持ちがいいです。ただ忙しい姿もよく見ます。
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	2.9	3.3	3.3	
4保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.4	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は園の我が子の様子を知りたいと思います。保護者に今日はこんな表れがあったよと伝えながらコミュニケーションを取っていくのはとても良いことだと思います。対応の難しい保護者もいると思いますが、一人で抱え込まないでください。 ・一番苦労の多いことだと思う。一律にマニュアルがあるわけではないので一人一人一つ一つ、多くの目より良い方法が生まれ教職員の力になっていくと思う。 ・保護者とも上手に連携して子ども達のサポートよろしく願います。 ・小さな変化は心の表れです。日頃から心がけていくことは子を預けるものとして安心感があります。 ・お迎えに行くと先生が日中の様子を細かく教えてくれます。園での子供の様子を知れて安心に繋がります。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.3	3.5	3.4	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.8	3.9	3.8	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.7	3.7	3.8	
5地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.9	2.7	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・馬帽子山へのハイキングに行ったのですが、地域にある公園や自然と触れ合うことはとても良いことだと思います。また地域の人たちと挨拶を交わし合う経験も大切にされたらいいかなと思います。 ・保護者の力を借りることも一つの方法。 ・地域や自然との関りが少し減っている様に感じます。コロナの影響もあると思います。 ・地域との接点が少ない時代背景があるからこそ地域との繋がりを前面に出していくことは今後の園の強みになるのではと思います。 ・子ども園での子育て支援とは何か具体的にあるのでしょうか。
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.6	2.6	2.7	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.6	2.3	2.5	
6安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.5	3.6	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議にて職員で毎回意見交換をし振り返りを行っているのほども効果的だと思います。 ・事故後の対応や市への報告を行っているが、今年はヒヤリハットを多く出すことによる大きな事故を防げている。 ・毎月の安全点検、毎日の検食、避難訓練等定期的に確実に実施しているため、実際に起きたときに確実に成果が出ると思います。 ・通報訓練を初めて体験した。 ・子どもたちには手洗いうがいなどの大切さを伝えられたが、家庭への啓発はとくにしていなかった。 ・「最後〇〇ちゃんおねがいます」「あと〇人です」など講師の先生と声を掛け合い連携を取っている。保育室からどこかへ移動した際は、必ず人数確認をしている。 ・通園バスの事故や不適切保育など、他で起きた事案を自分事として受け止め、危機管理意識をより高めていく様子が見られました。 ・安全な環境の中で保育が行われていることが第一だと思います。常に園庭の遊具や教室内の安全点検を心掛けてください。 ・園への要求が年々多くなっていると感じる。取捨選択し外部に任せたいは任せたいと思つて。ヒヤリハットについては、是非具体例で意見交換してください。 ・安全は何よりも第一に考えたいですが、過度に(過保護)になりすぎないバランスが大切かと思つています。 ・情報共有されているのを感じます。安心感があります。 ・ニュースで様々な事故が取り上げられるたびに早め早めに対策しようとして動いてくれることがわかります。ありがとうございます。 ・痛みの迎えを待つ子どもが長時間日差しの中にいるのはかわいそうだという意見がありました。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.4	3.5	3.4	
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、こどもや家庭への啓発に努めている	3.5	3.6	3.5	
	④閉じ込め・置き去り・取り残しなどないように人数確認を確実にしている		3.8	3.7	
7研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	2.8	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの保育の様子を見合う時間なども活用しながら反省評価し、自分の力量を高めていくことはとても良い研修方法だと思います。 ・日々の情報共有や情報交換の中で大切なことが意識され研修となっているが、指導案を書いて振り返る時間を確保して力量を高めたい。 ・時代の変化が速く様々なスキルや情報が必要で。 ・評価点が他項目より低いのは本人の実感が少ないと考えられます。園として内容の方向性を示し研究研修を奨励評価できる仕組みがあると自己評価点が向上するのではと思います。 ・人手不足の中でも手厚くやってくれていると思います。先生たちの働く環境がもっと良くなるようにと思います。そんな中でも研修や情報収集などされていて努力されているんだなと思いました。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.2	3.0	3.0	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	2.9	3.3	3.3	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	3.0	3.0	3.1	
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	3.2	2.9	2.9	

<こども園の教育・保育をより充実していくための提言>

- ・年々保護者対応が難しくなっています。その分困っている親も多く、その困り感をどう解決していけばよいか分からない親が増えているように感じます。子どもへの叱り方も分からず担任との面談の中で「そんなに強く言っても大丈夫なんですか？」という発言もあります。育て方、子どもへの関わり方、困ったときの相談の仕方が分からず、イライラして子どもにもぶつかけたり学校に攻撃的になったりしている保護者もいると思います。小学校では家庭教育学級があり、参加した方は「参加して良かった」という感想ですが、子どもが小学校入学を機にパートを始めたり仕事を増やしたりする方が多く、参加してほしい保護者に参加のチャンスが少ない現状があります。幼稚園時代から保護者同士が良好な人間関係が作れる場があるといいなと思います。すでに取り組まれていることがあれば教えていただき参考にさせていただきたいと思います。
- ・参観させていただき園の先生方がとても柔らかく、一人一人の思いを大切にしながら対応されていることや、特に年長の先生が子どもたちにプラスの言葉かけをたくさんされていて、上手に褒めながら指導されている様子はとても勉強になりました。小学校に入学してきて子どもへの関わり方にギャップが生じないように上手く指導を繋いでいきたいです。今後ともよろしくお祈りします。
- ・適切な子供の理解のために家庭環境などを共通理解するための情報交換が必要なこともあるのではないのでしょうか。先生方の意見を読んで本当に忙しいんだなと感じました。できることから行事の精選見直しなどされてスリム化を目指されたいかがでしょうか。
- ・言いたいことも言える、察していくことのできる職場であってほしいと思う。働き方改革の趣旨を踏まえ、教職員の人数を増やすとか待遇改善を。徒歩通園の廃止については、多くの葛藤があったと思う。今後も色々な影響が出てくると思う。勇気ある大きな決断を良い方向で転嫁してほしい。
- ・教室の周りの廊下に多くのもが置かれていて、何かあったときに避難する障害になるような気がした。動線はしっかり確保しておきたい。
- ・評価委員会において皆さんが活発に真剣に話されていて良かったと思います。園全体として園児保護者対応はよくやっていたらと評価しています。
- ・上記①「支援を必要とする子への対応が職員一人ひとりで違いすぎる」について「支援を必要とする子」は多分その子によって様々なケースがあり非常に難しいと思います。それだけにスタンダードな部分を決め各々への対応の皆で共有することが大切だと思います。
- ・地域と連携して明るく活発な子ども達を支えてください。子どもは遊びが一番遊びを通して色々なことを学んでいると思います。
- ・先生方が大変苦労して頑張っておられることがよくわかりました。これからもよろしくお祈りします。
- ・地域と繋がりを深めるイベントがあると地域にとっても必要な事業所になるのではと思いました。
- ・最近発達障害と診断される子が増えてきました。保護者会から集めた意見の中にもあったように、親の理解がまだまだされていないのかなと思います。先生も親も、ともに学べる機会があったらいいのかなと思います。
- ・先生たちが笑顔でいけると子供たちも自然に笑顔になります。先生たちが笑顔で働ける職場環境を整えてほしいなと思います。
- ・色々な場面を想定して対策をしている様子はすごいなと思っています。1年間PTA保護者会の活動を通して感じたことは園努力していること困っていること協力してほしいこと、これからはもっと保護者会をうまく利用して発信したら良いのでは？と思いました。同時に保護者一人一人からも要望を吸い上げどんなことに不便や悩みが多いのかを統計を基に少しでも寄り添っていただけますと嬉しく思います。